



# くりっぴ

CREATIVE LEARNING INFORMATION PAPER

子どもたちの創意ある学習活動をバックアップする情報紙

## 一緒につくりましょ 風通しのよい学校

高校教育改革に続いて義務教育改革がスタートをきり、今、学校が大きく変わるうとしています。保護者や県民の願いをいつでも、そしてしっかりと受け止められる学校でありたい。だから学校の現状や改革へのプロセスを含めて、広く皆さんに知っていただいた上で、学校と家庭・地域・関係機関がみんなで知恵を出しあい、しっかりと議論しながら、これからの学校づくりを考えていきたいと思っ  
ています。オープンで自由な空気の中、子どもたち一人ひとりがのびのびと学ぶことができる、そんな学校づくりをめざします。



信頼される  
公教育の確立を

広島県教育委員会教育長  
辰野 裕一



今、本県の教育は、教育内容や学校管理について文部省から是正指導を受け、また、いじめや不登校の増加、県立高校生が金銭強要や暴力行為を受けた後に自殺するなど、教育の根幹に関わる課題が山積しております。これらの課題解決に向けて不遇転換の決意で取り組みを進めています。

また、教育改革については国レベルでも改革が進んでいますが、本県では、この動きを踏まえながら、高校教育改革、義務教育改革に取り組んでいます。

ポイントは「信頼される公教育の確立」に尽きます。教育は法令に則ったもので、かつ保護者・子どもたち、県民の願いや期待に応えるものでなくてはなりません。

具体的には、教育委員会や学校で揃えこまごま県民にオープンにして進めます。そして、学校・家庭・地域社会が協力して、子どもたちが安心してのびのびと学ぶことができる環境を作るため、教育委員会も学校も最大限の努力をします。保護者の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

### 教育長ホームページ「ホットライン 教育ひろしま」の開設について

「信頼される公教育」の確立に向けては、県民の皆様の声をできるだけ広く伺い、反映させていくことが重要です。そのため、皆様のお見聞の窓口としてインターネット上に、教育長ホームページ「ネットライン 教育ひろしま」を開設しました。教育改革に関すること、生涯学習施策に関すること、文化・スポーツの振興に関することなど、どのような分野でも結構です。教育行政に対するご意見・ご要望、施策に関するアイデアなどをたくさんお寄せください。

- 内容
- (1) 教育長あいさつ
  - (2) 意見記入ページ
  - (3) 教育委員会の主な施策の紹介  
義務教育改革ページ、いじめの相談のページなど教育委員会関係の情報が閲覧できます。
  - (4) 「意見の広場」  
皆様からいただいたご意見を紹介します。

なお、ご意見等は、  
広島県政もみじファクスや  
郵送でも受け付けています。

【教育長ホームページ】 <http://www.hiroshima-cdas.or.jp/pre/kyoiku/hotline/> 【県政もみじファクス】 FAX 082-224-1122 ボックス番号 80034  
【郵 送】 〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会管理部長秘書 宛（「ネットライン」と明記していただければ幸いです。）

# 学校に新しい風

義務教育改革推進協議会の  
一次・二次報告がまとまりました。

義務教育改革の基本的な目標や実現に  
向けての具体的な方策について、

今年四月から検討を重ねてきた

義務教育改革推進協議会の

一次報告及び二次報告が発表されました。

一次報告は、心の教育の充実や

個性を尊重し、保護者をはじめ

地域の人々に信頼される

学校づくり等を柱とし、

今後広島県として重点的に取り組むべき

3つの方向性を

示したものとなっています。

二次報告は、一次報告に基づき、

早期に取り組むべき具体的な

方策を示しています。



## 基礎・基本の定着と 個性重視の教育の推進

子どもたち一人ひとりがゆとりをもって学び、基礎的・基本的な内容を確実に身につけたうえで、その可能性を十分に伸ばしてあげたい。そんな個性に応じた教育活動を展開していくため、教育内容や指導方法の改善、子どもたちのよさや可能性を生かせる評価の工夫、教職員の指導力の向上等に努める必要があります。

## 豊かな心をはぐくむ教育の推進



いじめや問題行動など、子どもたちの心の問題に適切に対応していきけるよう、家庭や地域との連携強化をはかります。また学校内部においても、体験学習の積極的な推進、道徳教育の見直し、充実など、思いやりや感謝の心を育てる心の教育に力を注いでいく必要があります。

## 開かれた学校づくりの推進

児童生徒が安心して登校できる学校をめざしていくため、学校から地域・保護者の皆さんに対して積極的な情報提供を心がけると同時に、皆さんからの声を学校運営に反映できるようにシステムづくりが必要です。また、地域の人材を講師として招いたり、学校の施設を住民に開放するなど活発な交流を促進し、地域等に関わったオープンな学校づくりをめざす必要があります。



## 聞かせてください あなたの意見

広島県教育委員会では、義務教育改革について広く皆さんの意見を聞くために、意識調査や公聴会、シンポジウムを実施しました。教育長ホームページ、ファクス、郵送でも意見を求めています。寄せられたご意見は次号で紹介する予定です。

郵便	〒730-8514 広島市中区基町9-42 広島県教育委員会教育部教育企画課
ファクス	広島県政もみじファクス FAX082-224-1122 ボックス番号80011
教育長ホームページ	<a href="http://www.hiroshima-cdas.or.jp/pref/kyoiku/hotline/">http://www.hiroshima-cdas.or.jp/pref/kyoiku/hotline/</a>



# 平成11年度公立高校入学者選抜日程

来年度の公立高校入学者選抜の概要が決まりました。自分にあった学校選びは充実した高校生活の第一歩。好きなことや興味のあること、将来の進路などを考えながら、じっくりと準備をすすめてください。

## ●全日制・定時制の課程

### ○選抜(Ⅰ)(全日制で実施)

入学願書等受付	1/12(火)~18(月)正午
面接等	1/21(木)
合格者発表	3/11(木)~12(金)

### ○選抜(Ⅱ)(全日制・定時制で実施)

入学願書受付	2/2(火)~5(金)正午
入学願書取下げ	2/10(水)~12(金)正午
入学願書再提出	2/17(水)~19(金)正午
入学者選抜願提出	2/17(水)~19(金)正午
調査書提出	2/17(水)~24(水)正午
学力検査	3/4(木)・5(金)
合格者発表	3/11(木)~12(金)

### ○選抜(Ⅲ)(全日・定時制ともに定員に満たない場合に実施)

入学願書等受付	3/18(木)~19(金)正午
作文	3/23(火)
合格者発表	3/25(木)

## ●通信制の課程

入学願書等受付	3/1(月)~31(水)正午
入学許可者発表	4月中旬頃までに、実施校から入学許可者あてに通知

※入学定員に欠員がある場合には、上記期間後に改めて受け付ける。

## 選抜(Ⅰ) (推薦入試)とは

選抜(Ⅰ)は、入学定員の一部について学力検査を実施しないで選抜をおこなうもので、特定の学科・コースで実施するもの、選抜地域などで実施するもの、中学校を指定して実施するものの3つがあります。この内、中学校を指定して実施する選抜(Ⅰ)は、総合選抜制度の廃止に伴い平成10年度から導入されたもので、以前の総合選抜実施学区の全日課程普通科および総合学科において次の方法で実施します。定員枠は、原則として入学定員の20%以内とし、県教育委員会が別に定めます。

## 中学校を指定して実施する 選抜(Ⅰ)について

### 推薦方法

平成11年3月に県内の中学校又は盲・ろう・養護学校中学部(以下「中学校」という)を卒業見込みの者で、次の条件を満たした者を、在学中学校の校長が責任をもって推薦します。

- (ア) 当該高等学校へ目的意識をもって進学を希望していること
- (イ) 向上心、学習意欲をもっていること
- (ウ) 当該高等学校の課程の修了の見込みがあること

### 選抜方法

志願者全員に対して、作文と自己申告書に基づいて面接を実施し、推薦書・自己申告書、調査書、作文及び面接の結果に基づいて総合的に判断して、合格者を決定します。なお、合格者の決定については、県教育委員会が別に定めた各中学校ごとの人数の範囲内で行うものとします。

# 文部省は正指導経過報告

今年5月20日、広島県の学校教育について、文部省から学習指導要領等に照らして逸脱のおそれがある問題および学校の管理運営にかかわる問題について是正するよう指導を受けました。

広島県教育委員会としては、これらの指摘を受けて、現在、学習指導要領や関係法規に照らし、是正・改善を行っているとあります。

信頼される公教育の確立をめざして、今後とも是正・改善の取組みを進めるとともに、児童生徒一人ひとりの興味・関心・適性等に適切に対応した個性を生かす教育を充実してまいります。

また、人間尊重の精神を基盤として、心豊かな人間の育成を図りながら、学校教育に対する保護者や県民の皆さんの期待や願いを受けとめて、本県教育の二層の充実に努めるよう取り組んでまいります。

## 是正指導の内容

50分を基準とする授業時間が45分に短縮されていたり、年間総授業時数が確保されていなかったりした中学校があったこと。

一部未記入など指導要録の記入が適正になされていない小・中学校があったこと。

週1時間の道徳の時間が設けられていなかったり、別の名称に変わっていたりした小・中学校があったこと。

主任の任命の時期の遅れや、職員会議の運営など、学校の運営管理にかかわること。

卒業式・入学式での国旗掲揚や国歌斉唱の指導をしていない学校があったこと。

# 子どもたちの問題行動を防止するために

## ■子どもたちを取り巻く状況は

## ■子どもの変化に気づいていますか

子どもたちの問題行動は平成7年を境に増加に転じており、最近第4のピークを迎えたといわれています。県内でもナイフによる刃傷事件、金銭強奪や暴力行為などが発生し、かけがえのない生徒の命が失われるなど、極めて深刻な状況になっています。

県教育委員会では、7月に発生した県立高校生の自殺を受けて、県教育委員会、県警察本部および県民生活部の関係課で構成する「児童生徒の問題行動に係る対策本部」を設置し、問題行動の防止と、学校による問題の「発見・対応」から関係者が協同で取り組む「聞かれた」連携への転換を図っています。

子どもたちの問題行動を防止するため、私たち大人は子どもの変化に敏感に対応し、学校・家庭・地域が一体となって取り組んでいきましょう。



### 1.子どもが体調不良を訴えていませんか？

最近、無気力、疲労感、頭痛、体温調節機能の低下による吐き気などの症状を訴える子どもが増えています。これらは生活リズムの乱れや、過度のストレス、不安・緊張等が原因ではないかと考えられています。保護者は子どもとともに生活のリズムを整え、家庭を子どもの落ち着ける場所にするのが大切です。

### 2.子どもが一人で部屋で遊ぶことが多くなっていませんか？

広場や野原の減少、テレビゲーム等の出現で、子どもたちの遊びの形も大きく変わってきました。小さい頃から集団で遊ぶことの少ない子どもは、

様々な経験を通して自分を抑制したり、感情をコントロールする力が十分に育たないといわれています。年齢の違う子どもとの関わりの中で自分を表現することや、野外での遊びの楽しさを子どもに伝えていきましょう。

### 3.子どものお金の使い方が荒くなっていませんか？

金銭強奪など深刻な問題の発生を未然に防ぐには、周囲の大人が子どもの発するサインをキャッチし、きちんと対応していくことが大切です。子どもの持ち物や金銭の使い方など、小さな変化にも注意を払い、声をかけてあげてくだ

さい。そして日頃から子どもが悩みを相談できるように家族のつながりをつくっていきましょう。

### 4.子どもといっしょにいろいろな体験をしていますか？

約束を守れない、人を思いやることができない子どもが増え、欲しいものを我慢したり、欠点も含めて自分が好きという子どもが減っています。これは多くの人と一緒に協力しあって生活する力が衰えたためだといわれています。子どもといっしょに家事や工作をするなどの体験を増やしたり、ボランティア活動や自然体験などに家族で参加し、多くの人と交流をもつ機会を積極的につくっていきましょう。

## 相談は次のダイヤルに

子どもたちを取り巻く状況は急激に変化しています。ちょっとした気がかりでも、一人で悩まず、気軽にお電話ください。

- いじめダイヤル24 TEL 0824 (20) 1313 毎日 24時間
- 心のふれあい相談室(県立教育センター) TEL 0824 (28) 7110 月～金 9:00～16:00
- こころの相談室(福山教育事務所内) TEL 0849 (25) 3040 火・水 10:00～17:00
- こころの相談室(三次教育事務所内) TEL 0824 (63) 3141 月・水 10:00～16:30

## シリーズ・同和教育⑦ みんな大切なひとりです

同和教育の解決をめざして、学校はもちろん地域社会においても、広く人権意識を高め、部落差別の解消を図っていくさまざまな取り組みがすすまれています。しかし現実には、今なお差別対象があとを絶ちません。こうした状況を一日も早くなくするためには、学校・家庭・地域とが一体となって、地域ぐるみでの同和教育を推進することが大切です。今回の「シリーズ・同和教育」では「民主的で差別のない明るく住みよいまちづくり」をめざして、「地域社会における同和教育」について考えていきたいと思います。

### 地域社会における同和教育のねらい

1993(平成5)年度の「同和地区実態把握等調査(広島県分)」によれば、「同和教育の解決に対する態度」について、45.2%の人が「自分も解決に向けて努力すべき」と回答していますが、一方で、53.5%の人が「自分とは関係ない」「成り行きにまかせる」「誰かしかるべき人が解決してくれると思う」「あるいは「よく考えていない」と答えており、いまだに同和教育は「自分とは関係ない」とする意識が根強く残っています。

しかし現実には、同和教育は私たちの生活と深く関わっている問題であり、その解決を「自分の課題」としてとらえ、行動することが大切です。現在、各地域で実施している同和教育の解決をめざした件発活動は、すべての住民の人権意識を高め、生活を向上させる取り組みなのです。同和教育に対する正しい理解と認識を深め、同和地区に対する偏見や差別をなくすとともに、身の回りには差別のない意識やそれを助長する不合理な因習等を改める取り組みをすすめる、誰もが安心して生活できるまちづくりを推進していくことが大切です。

このように、地域社会における同和教育のねらいは「民主的で差別のない明るく住みよいまちづくり」にあるのです。

## 家族で遊ぼうホリデー

### おでかけガイド



略記号の見方  
 内容 参加対象者 時間  
 場所 申込先 問い合わせ  
 ※詳細については、☎に電話ください。  
 ☎には、☎・☎・☎(小学生の児童・生徒などを含みます)の記載がないものはどなたでも参加できます。

- A** 12/24(土)・25(日) 24時  
 広島山陽女子大学「江戸時代」に広島を詠んだ漢詩の数々を展示  
 9時30分～17時  
 広島山陽女子大学資料館 0822(542)7022
- B** 12/6(日)・12/20(日)  
 「草戸千軒を描こう」作品展  
 小・中学生による草戸千軒の美術大賞元の写生作品と草戸千軒にちなんだ書道作品の展示  
 9時～17時  
 広島立歴史博物館 0849(3)2513
- C** 12/15(日)・1/15(日)  
 日本美術院創立100周年記念展  
 明治31年以降、わが国の美術界をリードしてきた日本美術院の創立100周年を記念し、横山大観、荻田春草、速水瀧舟などの傑作を通して日本画の流れを辿ります  
 10時～18時(入館は17時30分)  
 広島立歴史博物館 0849(3)2513
- D** 12/18(土)・25(日)・1/8(土)・15(日)  
 キャラビートーク  
 「日本美術院創立100周年記念展」  
 広島美術館で作品を見ながら、特別展についてわかりやすく解説します  
 11時  
 広島立美術館 0822(24)3151
- E** 12/19(土)  
 講演「日本画の伝統と革新」  
 14時  
 広島立美術館 0822(24)3151
- F** 12/19(土)・1/18(日)  
 ロビーコンサート  
 弦楽四重奏など、特別展に関連した演奏会  
 13時～14時  
 広島立美術館 0822(24)3151
- G** 12/23(日)  
 講演「院展100年の軌跡」  
 14時  
 広島立美術館 0822(24)3151
- H** 12/26(土)・27(日)  
 子ども歴史相談室  
 歴史・考古に関する疑問に回答が受けられます  
 小・中学生  
 9時～17時  
 広島立歴史博物館 0849(3)2513
- I** 1/13(日)・16(土)・17(日)・21(木)  
 福山市私立幼稚園園児絵画展  
 福山市内の私立幼稚園園児の皆さんが描いた絵画作品を前期・後期に分けて展示  
 9時～17時(16・21日は午前中まで)  
 広島立歴史博物館 0849(3)2513
- J** 1/15(日)  
 大福茶会  
 若水を汲んでお茶をたて1年の無病息災を祈る恒例茶会  
 10時～15時  
 福徳園 0822(24)3151
- K** 1/16(日)  
 第88回博物館講座  
 文化財入門「伝説三龍」  
 14時～15時30分  
 広島立歴史博物館 0849(3)2513
- L** 1/20(日)・2/7(日)  
 第45回日本伝統工芸展  
 わが国の優れた工芸の伝統を継ぐ漆、和紙、金工、木工、繊維、無形文化財保持者の作品を展示  
 10時～18時(入館は17時30分)  
 広島立美術館 0822(24)3151
- M** 1/22(土)・24(日)・29(金)・31(日)・2/5(土)  
 キャラビートーク「第45回日本伝統工芸展」  
 広島美術館で作品を見ながら、特別展についてわかりやすく解説します  
 11時  
 広島立美術館 0822(24)3151
- N** 1/23(日)  
 国際理解講座  
 講演「アジアの文化を学ぶ一日・中・韓三国の文化を比較する」  
 14時～15時30分  
 広島立歴史博物館 0849(3)2513
- O** 1/23(日)  
 展覧トーク「四隅突出型埴輪の謎」  
 学芸員による発表とQ&Aセッション  
 高校生以上  
 14時～16時  
 広島立歴史博物館 0849(3)2513
- P** 1/23(土)・24(日)  
 とぎめき冬体験  
 とんとん・パドゥッチョッチョなど体験します  
 小学生3年～中学生  
 23日10時～24日14時  
 広島立歴史博物館 0849(3)2513
- Q** 1/23(土)・24(日)・30(土)・31(日)  
 衛星通信を利用した公開講座  
 心豊かな子どもを育てる家庭教育  
 大学教授等による講義と地域での活動者による事例紹介  
 13時30分  
 広島立生涯学習センター他  
 広島県教育委員会生涯学習課 0822(24)3151
- R** 2/13(土)・2/14(日)  
 子ども自然探検クイズ・絵  
 野原の観察、探検へりなと  
 小学生3年～中学生  
 広島立歴史博物館 0849(3)2513

### 第11回全国生涯学習フェスティバル

●とき/平成11(1999)年10月7日(木)～11日(月)  
 ●ところ/広島市、呉市、福山市、庄原市、東広島市、しまなみ海道地域

参加事業の募集  
 ●生涯学習見本市での出展(出展料1小間30万円) ●生涯学習体験広場(体験コーナーでの教室開講、生涯学習発表ステージの出演) ●シンポジウム・講演会等の各種事業

第11回全国生涯学習フェスティバル実行委員会事務局  
 お問い合わせは 7730-8514 広島市中区基町9-42(広島県教育委員会生涯学習課内)  
 TEL082-228-2111(内5015) FAX082-212-3331